

入学

アドミッション・ポリシー 2頁に準拠して学生を募集しています。おもに専任教員が担当する演習ゼミと講義を右に抜粋しました。専門科目についてはカリキュラム一覧表 5頁も参照してください。

1 回生

入門ゼミ

入門演習

基礎ゼミ

基礎演習 I

概論講義

日本古代中世史
日本近世史・日本近現代史
東洋古代中世史・東洋近現代史
西洋古代中世史・西洋近現代史
日本考古学・日本民俗学
歴史資料学入門
漢文講読入門

2 回生

基礎ゼミ

基礎演習 II

専門ゼミ

史学演習 I

史料講読

日本史料講読 I～IV
古文書講読 I・II
東洋史料講読 I・II
西洋史料講読 I・II

専門実習

日本考古学資料研究
日本民俗学資料研究 I・II

3 回生

専門ゼミ

史学演習 II・III

特殊講義

日本史特殊講義 I～VI
近現代日本の政治 I・II
宗教思想史 I・II
日本古文書学 I・II
東洋史特殊講義 I・II
アジアの政治 I・II
西洋史特殊講義 I・II
ヨーロッパの社会と経済 I・II
日本考古学特殊講義 I・II
日本民俗学特殊講義 I・II
女性史 (ジェンダー論) など

4 回生

卒業論文

専門ゼミ

史学演習 IV・V

これらの他にも、史学科のカリキュラム・ポリシー 3頁に基づいて開講される必修科目、全学共通教養科目、資格や免許取得に関わる科目、などを履修して卒業を目指します。4年間でどのような学生に成長できるのか、つまり卒業を認定するための基準は、ディプロマ・ポリシー 4頁に示してあります。

入門

基礎

展開

完成



入学者の受け入れに関する方針 (抜粋)

例えば、以下のような学生を求めています

知識
技能

- ・ 幅広い歴史的視野と特定の時代・地域に関する専門的知識を身につけようとする意欲を持つ者。

思考力
判断力
表現力

- ・ 研究発表ならびにレポートや卒業論文に真摯に取り組み、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を身につけようとする意欲を持つ者。

主体性
多様性
協働性

- ・ 多様な歴史学上の視点や学説を積極的に受容し、みずからの視座を確立しようとする意欲を持つ者。

アドミッション・ポリシー



教育課程の編成や実施に関する方針 (抜粋)

以下のような方針でカリキュラムを作成しています

教育課程 の編成

・ 専門科目を、概論群、講読・資料研究群、特殊講義群、演習群、卒業論文の5つに分類している。学芸員資格や教員免許の取得に必要な歴史学隣接分野の科目も、専門科目内に多く開設している。

科目群毎の 教育内容

- ・ 概論群では、歴史学に関する幅広い知識と多様な歴史観を身につける。
- ・ 講読・資料研究群では、史料講読や歴史的資料の取り扱いを通して、資史料を基に歴史像を描く能力を養成する。
- ・ 特殊講義群では、歴史学の最先端の講義を通して、自らが課題を設定して卒業論文を作成していく意識を高める。
- ・ 演習群は、課題を主体的に発見し解決する力と対話力を養成する中心的授業として特に重視し、初年次の入門演習をはじめとして、各年次にもれなく配置している。

卒業の認定に関する方針 (抜粋)

以下のような学生に学位を認定しています

知識
技能

・ 自己の研究課題に関する資史料（文献資料・考古資料・民俗資料など）の所在を調べて広く収集し、読解する技能を有している。

思考力
判断力
表現力

・ 講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。

主体性
多様性
協働性

・ 演習形式の授業に積極的に取り組み、主体的に自己の問題を解決できる能力を有している。

ディプロマ・ポリシー



授 業 科 目	区 分	単 位	配 当（開講）年次								備 考
			1 回 生		2 回 生		3 回 生		4 回 生		
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
概論群（12単位以上必修）											
日本古代中世史	選必	2	○								中・高（地歴）必修
日本近世史	選必	2	○								中高（地歴）必修
日本近現代史	選必	2		○							中高（地歴）必修
東洋古代中世史	選必	2	○								中高（地歴）必修
東洋近現代史	選必	2		○							中高（地歴）必修
西洋古代中世史	選必	2	○								中高（地歴）必修
西洋近現代史	選必	2		○							中高（地歴）必修
日本民俗学	選必	2	○								学芸員必修
日本考古学	選必	2		○							学芸員必修
歴史資料学入門	選必	2		○							
講読・資料研究群（8単位以上必修）											
日本史料講読Ⅰ	選必	2			○						} 隔年開講
日本史料講読Ⅱ	選必	2				○					
日本史料講読Ⅲ	選必	2				○					
日本史料講読Ⅳ	選必	2					○				
古文書講読Ⅰ	選必	2			○						
古文書講読Ⅱ	選必	2				○					
東洋史料講読Ⅰ	選必	2				○					
東洋史料講読Ⅱ	選必	2					○				
西洋史料講読Ⅰ	選必	2				○					
西洋史料講読Ⅱ	選必	2					○				
日本考古学資料研究	選必	2					○				
日本民俗学資料研究Ⅰ	選必	2						○			
日本民俗学資料研究Ⅱ	選必	2							○		
特殊講義群（12単位以上必修）											
日本史特殊講義Ⅰ（日本の国際交流 a）	選必	2						○			} 隔年開講
日本史特殊講義Ⅱ（日本の国際交流 b）	選必	2							○		
日本史特殊講義Ⅲ（中世の社会 a）	選必	2						○			} 隔年開講
日本史特殊講義Ⅳ（中世の社会 b）	選必	2							○		
日本史特殊講義Ⅴ（近世の社会 a）	選必	2							○		} 隔年開講
日本史特殊講義Ⅵ（近世の社会 b）	選必	2								○	
近現代日本の政治Ⅰ	選必	2						○			} 隔年開講
近現代日本の政治Ⅱ	選必	2							○		
東洋史特殊講義Ⅰ（アジアの国際交流 a）	選必	2							○		} 隔年開講
東洋史特殊講義Ⅱ（アジアの国際交流 b）	選必	2								○	
アジアの政治Ⅰ	選必	2						○			} 隔年開講
アジアの政治Ⅱ	選必	2							○		
西洋史特殊講義Ⅰ（ヨーロッパの政治 a）	選必	2							○		} 隔年開講
西洋史特殊講義Ⅱ（ヨーロッパの政治 b）	選必	2								○	
ヨーロッパの社会と経済Ⅰ	選必	2						○			} 隔年開講
ヨーロッパの社会と経済Ⅱ	選必	2							○		
日本考古学特殊講義Ⅰ	選必	2						○			} 隔年開講
日本考古学特殊講義Ⅱ	選必	2							○		
日本民俗学特殊講義Ⅰ	選必	2							○		} 隔年開講
日本民俗学特殊講義Ⅱ	選必	2								○	
日本古文書学Ⅰ	選必	2						○			} 学芸員はいずれか2単位必修
日本古文書学Ⅱ	選必	2							○		
美術史Ⅰ	選必	2			○						} 学芸員はいずれか2単位必修
美術史Ⅱ	選必	2				○					
宗教思想史Ⅰ	選必	2						○			} 隔年開講
宗教思想史Ⅱ	選必	2							○		
女性史Ⅰ（ジェンダー論 a）	選必	2						○			} 隔年開講
女性史Ⅱ（ジェンダー論 b）	選必	2							○		
演習群（16単位必修）											
入門演習	必修	2	○								
基礎演習Ⅰ	必修	2		○							
基礎演習Ⅱ	必修	2			○						
史学演習Ⅰ	必修	2				○					
史学演習Ⅱ	必修	2					○				
史学演習Ⅲ	必修	2						○			
史学演習Ⅳ	必修	2							○		
史学演習Ⅴ	必修	2								○	
その他の科目											
漢文講読入門	選択	2		○							
現代政治学の基礎	選択	2			○						
経済学の基礎	選択	2			○						
博物館概論	選択	2		○							学芸員必修
博物館教育論	選択	2			○						学芸員必修
博物館資料論	選択	2			○						学芸員必修
博物館経営論	選択	2					○				学芸員必修
博物館展示論	選択	2					○				学芸員必修
資料保存論	選択	2						○			学芸員必修
博物館実習	選択	3							○	○	学芸員必修
人文地理学	選択	2			○						中高（地歴）必修
自然地理学	選択	2			○						中高（地歴）必修
地誌学	選択	2				○					中高（地歴）必修
現代社会	選択	2					○				中高（公民）必修
法律学	選択	2						○			中高（公民）必修
倫理学概論	選択	2				○					中高（公民）必修
社会科・地理歴史科指導法Ⅰ	選択	2					○				中高（地歴）必修
社会科・公民科指導法Ⅰ	選択	2			○						中高（公民）必修
卒業論文	必修	8							○	○	
合 計											72単位以上必修



1回生では、基礎的な知識や考え方を身につけるため、すべての専門分野で選択必修科目として**概論**を開講しています。

2回生では、文献史料を読むための技能を養う**史料講読**、遺物に触れたりフィールドでの観察・聞き取りなど実際の作業を通して独自の資料収集の方法を身につける**資料研究**を中心に履修し、卒論を書くにあたっての基礎的技能を習得することが目標です。

3回生では、教員が各自の研究内容を講義する**特殊講義**を受講しつつ、各自の問題関心をより具体化し、専門分野の研究を深めるのが目的です。

《共通教養？》
史学科は**共通教養科目**として、**歴史Ⅰ**（日本の歴史）、**歴史Ⅱ**（アジアの歴史）、**歴史Ⅲ**（ヨーロッパの歴史）、**現代社会Ⅴ**（文化人類学入門）を開講しています。これらは史学科以外の学生も受講しますので、内容がより理解しやすいように配慮されています。

4年間を通じて**演習**（ゼミ）を開講して、きめ細かい指導を行います。

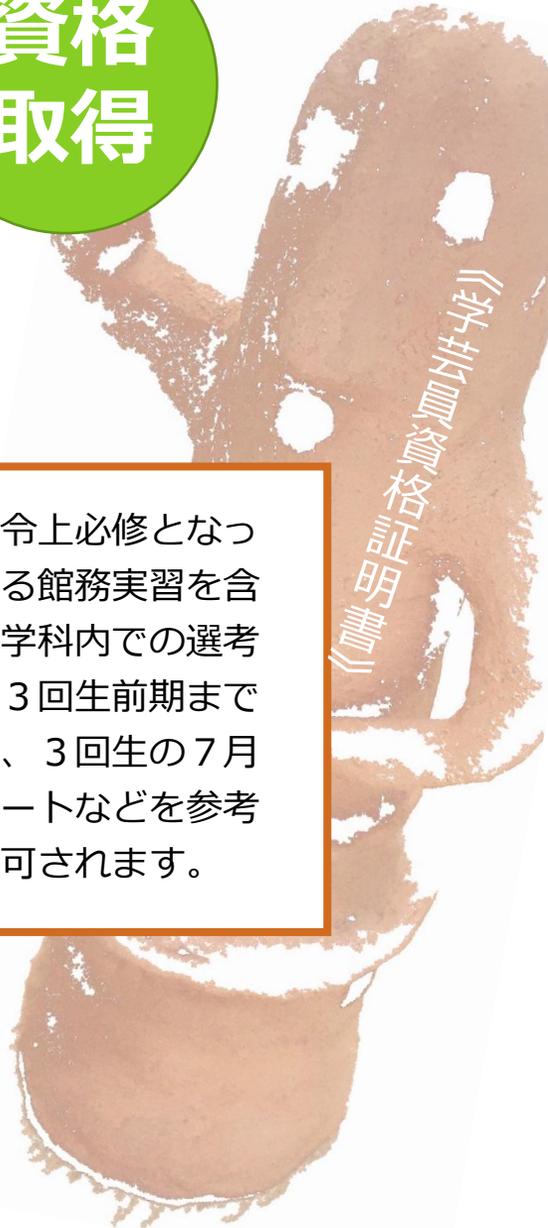
- 1回生「歴史研究の魅力を知らよう」
- 2回生「時代遺産を体感しよう」
- 3回生「発信能力を身につけよう」
- 4回生「卒業論文をまとめよう」



卒業論文は、6月下旬に仮題目を提出しますので、それまでにテーマを選定しておいてください。卒業論文の提出後には口頭試問を行います。例年1月末から2月初旬に実施しています。

博物館学芸員養成課程カリキュラムマップ

資格
取得



教職課程カリキュラムマップ

1 回生

教職論

教育の制度と経営

特別支援教育

総合的な学習の
時間の指導法

2 回生

教育原理

教育心理学



3 回生

教育課程論

教育の方法及び技術

生徒・進路指導論

特別活動の指導法

教育相談

教育実習指導

4 回生

教育実習

教職実践
演習

※下記②と③
の履修状況に
よって、取得
できる免許状
が異なります。

資格
取得

◇ 中学校教諭
一種免許状
(社会)

◇ 高等学校教諭
一種免許状
(地理歴史)
(公民)

※上記は**教育の基礎的理解に関する科目**（法令で必修と定められたもの）です。これらの他に①**教科および教科の指導法に関する科目**（所定の史学科専門科目）、②**大学が独自に設定する科目**（学校観察実習や介護等体験、所定の史学科専門科目）、④**教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目**（日本国憲法、外国語コミュニケーション、情報A、スポーツと健康の科学、など）があります。3回生後期までに所定の条件を満たした上で履修できると、教育実習、教職実践演習といった4回生での最終ステップに進めます。